

かんきょうを 考えるコーナー

環境課

環境キーワード

食品廃棄物

食品の製造や調理過程で生じる残さ、食品の流通過程や消費段階で生じる売れ残りや食べ残し、各家庭から排出される調理くずや食べ残しなどを「食品廃棄物」といい、国内で年間2,759万トンが発生しています。この食品廃棄物のうち、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品のことを「食品ロス」といい、国内で年間643万トンと推計されています。これは、国民1人1日当たりになると約139グラムになり、おおよそ茶碗1杯のご飯の量に相当します。

「ぎふ食べきり運動」

協力店・協力企業を募集しています

岐阜県では、料理の食べ残しにより廃棄される食品（食品廃棄物）を削減するため、昨年度から「ぎふ食べきり運動」を推進しております。

飲食店や企業などの協力によりこの運動を進めていくため、「ぎふ食べきり運動」協力店・協力企業の登録を行っており、現在、県内の97店舗に登録いただいています。

○登録申請

池田町役場環境課窓口にて、指定の申請書を配布しています。記入後、岐阜県庁廃棄物対策課に郵送、FAXまたはメールで送付してください。

「健康・福祉・エコフェアいけだ」

を開催します

- 日時 11月17日（日）
午前9時～午後2時30分
- 場所 中央公民館、役場ロビー
- テーマ

“環境を守り健康で福祉のまちを次世代に”

当日は健康、福祉、環境団体による出店や体験教室などを予定しています。

ご家族そろってのご来場お待ちしております。

たくさんの応募ありがとうございました

緑のカーテンコンテストにたくさんご応募いただきありがとうございました。

今年も残暑が続きましたが、日々大事に育てられ、どれも見事な緑のカーテンでした。その中で賞を選ぶのは難しかったのですが、会員の投票で決めさせていただきました。

大賞 福島 憲治様

涼しいで賞 井上 斉様 浦山 恒様
岡崎百合子様 河瀬 俊夫様
竹中 孝様 新川 和忠様
原 芳子様 松田 末子様
山名美代子様

なお、11月17日（日）開催の「健康・福祉・エコフェアいけだ」でも展示させていただきます。

四つ葉会



福島 憲治 様

おめでとうございます

- 出前 EMボカシの不思議
日時 10月8日（火）、10月15日（火）、
10月22日（火）
午前9時30分～正午まで
会場 北部リサイクルセンター
- 問い合わせ
NPO法人 Waコミュニティ
(石井) ☎45・3580、
角田 ☎45・2039) まで
- EMボカシ販売所
よってみな池田 ☎45・0437
中村種苗 ☎45・2265
中野種苗 ☎45・4851
富士屋種苗 ☎45・6087

「刈った草はいりませんか？」との電話をいただいた。刈った草ならボカシを振って土に戻したらどうでしょうかと返すと、「それが駄目なんです。」とすがるような声。「今夏の暑さの中、ツルが元気に繁茂して、たくさん草の中に混じっているのです、駄目なんです。」「そうですか、とにかく、見せてください」と、電話を待つ間、有機野菜作りが趣味の友人にダイヤル。

「苦土石灰1袋、生ごみ30kg、こぬか、ボカシ1kg・・・を用意。待つ間も無く、ツル草入りの草が到着。

先ずビニールシートを敷き、ツル草入り草を広げる。その上に、石灰を草の上に撒く。その上に、30kgのEMボカシをあげる。川の水で良いので、時々水をかけ、水分を補給。ビニールシートをかぶせ、周囲を密閉。ツル草入りの肥料化実験を始めました。草取りの草は、「燃えるごみが多い気がします。」子や孫が生きる2050年のために今生きている私たちがやれる事をやらねば!!

今月の

EMボカシの不思議